

2025年度(令和7年度)新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか (%)

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	80.0	13.3	6.7	0.0
女子	33.3	33.3	33.3	0.0

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	80.0	20.0	0.0	0.0
女子	66.7	0.0	33.3	0.0

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	53.3	26.7	20.0	0.0
女子	33.3	66.7	0.0	0.0

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	15.00	21.07	32.33	45.60	49.47	9.37	160.60	25.00	55.13
女子	15.00	20.00	31.67	31.00	36.33	9.97	141.00	11.00	48.67

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題および要因

情意面

・全体として運動好きな児童が多いが、男女差がある。
→運動することのよさや楽しさを実感できていない児童がいると考えられる。

体力面

・柔軟性と握力に課題が見られる。
→日常的に柔軟性や握力に関わる運動をしていないことが影響していると考えられる。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・授業のはじめに、運動の特性に合わせて全校で統一した準備運動と感覚づくり運動を継続実施する。
- ・運動好きな児童を増やすために、個に応じた場づくりや運動に苦手意識のある児童も楽しむことができるゲーム性のある活動を取り入れる。
- ・雲梯やのぼり棒を日常的に行う機会をつくることで、全ての児童が握力に関わる運動をできるようにする。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・週一回のロングタイム昼休憩を実施し、外遊びの時間を確保する。
- ・児童会や保健体育委員会が主体となり、運動することの意義や必要性を発信したり、全校・縦割り班での運動遊びを企画したりすることで、楽しみながら運動できる機会を作る。

2026年度(R8年度)の

- ・「運動やスポーツをすることは好き」の肯定的評価を90%以上にする。
- ・「長座体前屈」の平均値を前年度以上にする。